

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題o-アセト酢酸トルイジドのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する急性毒性試験試験番号

92052

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン No.203「魚類急性毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： o-アセト酢酸トルイジド
- 2) 試験生物： ヒメダカ(*Oryzias latipes*)
- 3) 生物数： 10尾／1試験区(1連につき5尾で1試験区10尾)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 暴露方式： 半止水式(1日に2回、試験液を交換)
- 6) 試験濃度： 100 mg/L、助剤対照区及び対照区
- 7) 連 数： 1試験区につき2連
- 8) 試験液量： 1試験容器(1連)につき2.5 L
- 9) 試験水温： 24±1℃
- 10) 照 明： 室内光、16時間明／8時間暗
- 11) エアレーション： なし
- 12) 試験液中の被験物質の分析： 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)
(暴露開始時、換水前)

結 果

- 1) 96時間の半数致死濃度 (LC50) >100 mg/L
- 2) 0%死亡最高濃度 ≥100 mg/L
- 3) 100%死亡最低濃度 >100 mg/L
(上記濃度は、全て設定濃度に基づく)

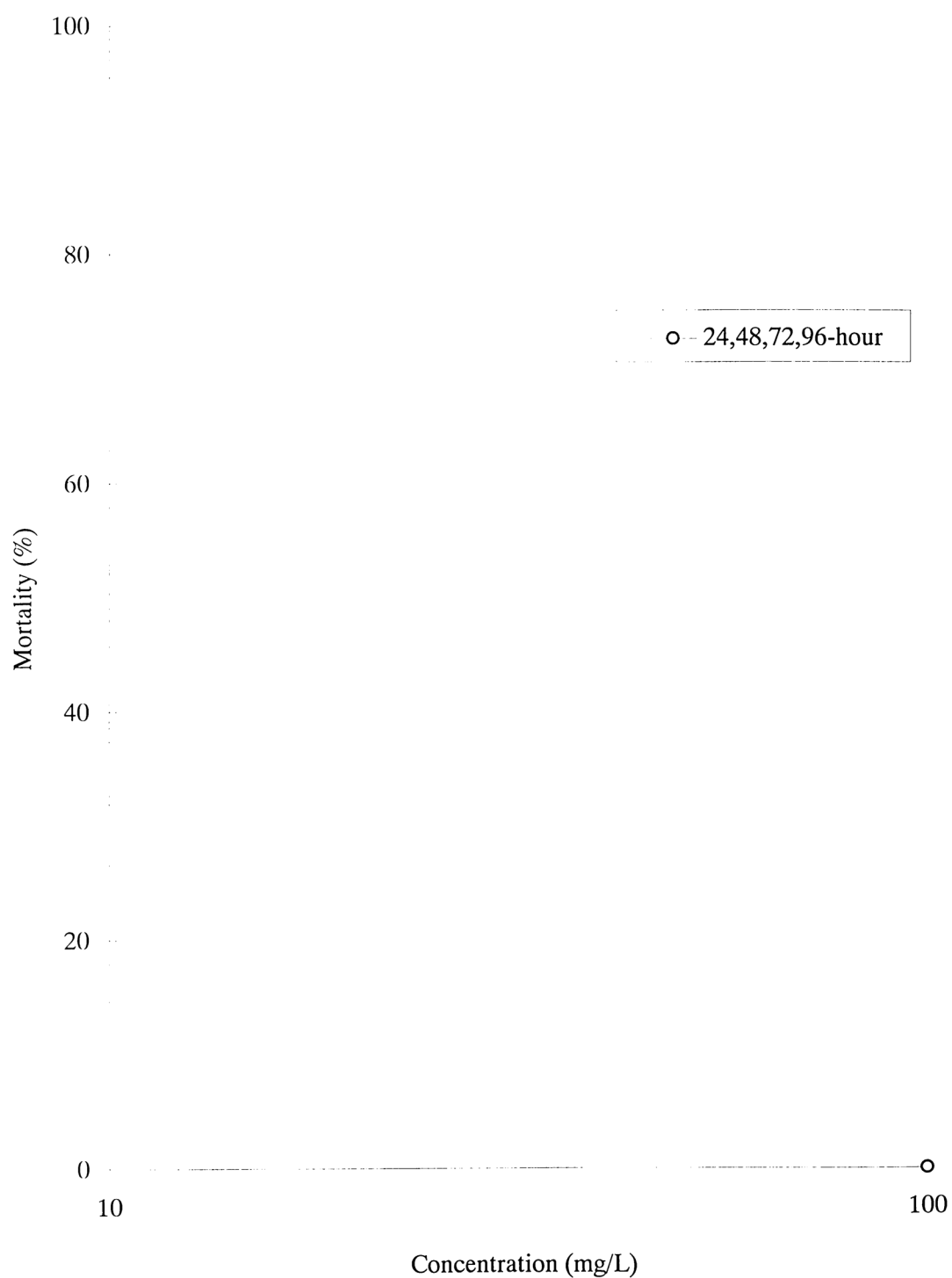


Figure 1. Concentration - toxicity curve of *o*-acetoacetotoluidide in orange killifish (*Oryzias latipes*).

要 約

試験委託者：環境省

表 題：4-メチル-1-ペンテンの藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) に対する生長阻害試験

試験番号：A030424-1

試験方法：

- 1) 適用ガイドライン：OECD 化学品テストガイドライン No. 201「藻類生長阻害試験」
(1984年)
- 2) 暴露方式：止水式 (密閉系), 振とう培養 (100rpm)
- 3) 供試生物：*Pseudokirchneriella subcapitata* (株名: ATCC22662)
(旧学名: *Selenastrum capricornutum*)
- 4) 暴露期間：72時間
- 5) 試験濃度：対照区, 助剤対照区, 0.120* mg/L
(設定値) (* 試験液調製可能最高濃度での限度試験)
助剤濃度一定: 100 μ L/L (N,N-ジメチルホルムアミド使用)
- 6) 試験液量：100 mL/容器
- 7) 連 数：3 容器/試験区
- 8) 初期細胞濃度：前培養した藻類 1×10^4 cells/mL
- 9) 試験温度：23 $\pm$ 2 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明：4000 lux ($\pm$ 20%の変動内, フラスコ液面付近) で連続照明
- 11) 分 析 法：ガスクロマトグラフィー質量分析 (GC/MS)

試験結果：

- 1) 試験液および試験培養液中の被験物質濃度

被験物質濃度分析の結果, 測定値の設定値に対する割合は, 暴露開始時の試験液において 78 %, 暴露終了時の試験培養液において 0.5 %であった。暴露開始時の濃度減少の主な原因は, 揮発性物質のため調製時に揮散したためと考えられた。暴露終了時の濃度減少の主な原因は, 揮散ではないかと思われた。阻害濃度の算出には開始時の測定値を用いた。

2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 E_{bC50} (0-72h) : >0.0931 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)

最大無作用濃度 $NOEC_b$ (0-72h) : >0.0931 mg/L

3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 E_{rC50} (24-48h) : >0.0931 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)

最大無作用濃度 $NOEC_r$ (24-48h) : >0.0931 mg/L

50%生長阻害濃度 E_{rC50} (24-72h) : >0.0931 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)

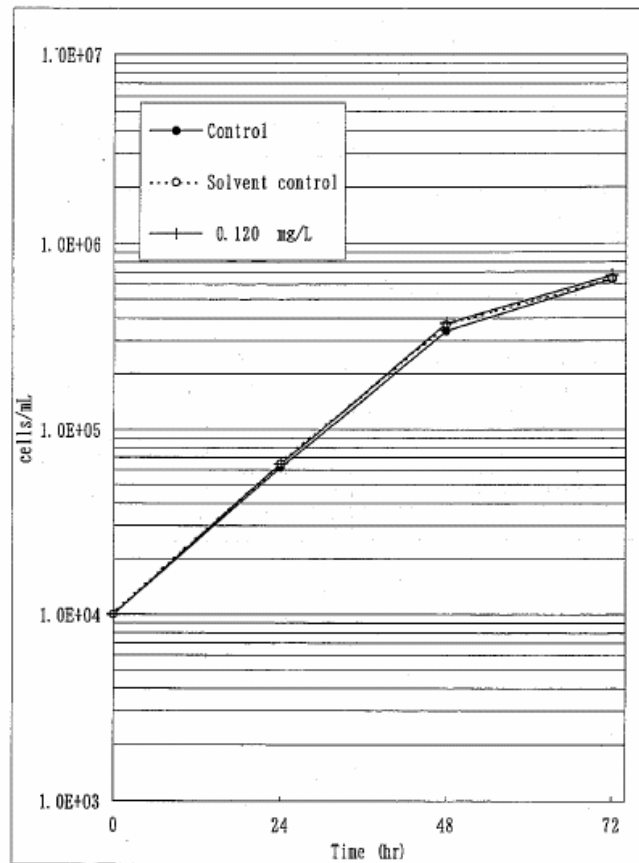
最大無作用濃度 $NOEC_r$ (24-72h) : >0.0931 mg/L

4) 藻類の形態観察

暴露終了時の顕微鏡下での細胞形態観察の結果, 0.120 mg/Lの濃度区では細胞形態の変化(収縮, 膨張, 破裂等)や細胞凝集は認められず, また, 対照区および助剤対照区との相違もなかった。

4-メチル-1-ペンテン (Cas. 691-37-2)

① 生長曲線



Values in legend are given in the nominal concentration.

② 毒性値

・0-72hErC₅₀: >0.0074mg/L

・0-72hNOECr: 0.0074mg/L

要 約

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : 4-メチル-1-ペンテンのオオミジンコ (*Daphnia magna*)
に対する急性遊泳阻害試験

試 験 番 号 : A030424-2

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン: OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類, 急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年)
- 2) 暴 露 方 式 : 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供 試 生 物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴 露 期 間 : 48時間
- 5) 試 験 濃 度 : 対照区, 助剤対照区, 0.120 mg/L
(設定値) (試験液調製可能最高濃度の限度試験)
助剤濃度一定: 100 μ L/L (ジメチルホルムアミド 使用)
- 6) 試 験 液 量 : 100 mL/容器
- 7) 連 数 : 4 容器/試験区
- 8) 供 試 生 物 数 : 20頭/試験区 (5頭/容器)
- 9) 試 験 温 度 : 20 $\pm$ 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (800 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : ガスクロマトグラフィー質量分析 (GC/MS)